

SPACE MAIL BOX

「ARISSスクールコンタクト」

荒川 泰 蔵

コスモス誌第231号に掲載されたウクライナのPスタンプに、イタリアのパオロ(Paolo Nespoli)宇宙飛行士の切手①を見つけて購入しました。

パオロさんは、2011年2月22日に、滋賀県東近江市にある西堀榮三郎記念探検の殿堂の無線倶楽部(JL3YRT)が準備したARISSスクールコンタクト(注)の特別局8N3NRで、子ども達が宇宙ステーション(ISS)と交信した時の相手局NAISSを運用した飛行士です。

私は当日の朝の準備の段階から見学し、夕刻から始まったISSとの交信にも立ち会いました。交信はアマチュア無線周波数の144MHz帯と430MHz帯で



すから、ISSが見える10分程度しか交信できません。待機していた子供たち15人の矢継ぎ早の質問に、パオロさんは丁寧に答えていましたが、会場の雑音と反響で良く聞き取れませんでした。

それなのに短時間の交信が終わると、司会者が突然「今の交信を翻訳してください」と私に振ってきました。質問した子供たちは勿論、約150人の観客も内容がよくわからないのか、何か物足りない様子です。そこで意を決し意識での概要ですと断りながら、聞き取れた言葉だけを日本語で伝えました②。

1枚の切手を眺めながら、6年前の出来事を思い出しています。

(注) ARISSスクールコンタクト：アマチュア無線を使用してISSに滞在しているアマチュア無線の資格を有する宇宙飛行士と子ども達が交信を行うプロジェクト



ARISS記念カバー 2011. 2. 22

編集後記

◆ 4月1日から部会が新組織に移行します。会報「コスモス」は、会員の皆様から宇宙郵趣をより一層楽しむことができるよう、引き続き宇宙関連マテリアルを幅広く掲載するなど皆様のお役に立つ会報づくりを目指して参る所存です。皆様のご支援ご協力をお願い致します。

◆ ウクライナで我が国を始め世界各国の宇宙飛行士を描くPスタンプが作製されておりこれまで本号を含め7回に亘って紹介してきましたが、まだ続々と作製されています。まだ未紹介のものが100名以上あり、Pスタンプとはいえこれだけ揃うと圧巻です。最近はロケット開発者なども登場し始めました。次号以降も引き続き紹介して行くことにします。

(3.25記 長谷)